

2024年10月1日

組合員・利用者本位の業務運営に関する取組状況および K P I 実績値の公表について

当組合では、「地域」と「信頼」に基づくJA綱領の具体的実践を行うことを理念として掲げています。この理念のもと、2017年3月に金融庁より公表された「顧客本位の業務運営に関する原則」を採択するとともに、組合員・利用者の皆さまの安定的な資産形成と幅広い保障の提供を通じた豊かで安心して暮らせる地域社会づくりに貢献するために具体的な取組みを実践しており、今回その取組状況を公表いたします。

また、上記とあわせ「お客様本位の良質な金融商品・サービスを提供する金融事業者をお客さまが選ぶ上で比較することのできる統一的な指標」（「比較可能な共通K P I」）も同時に公表いたします。

めぐみの農業協同組合

I.取組状況

1 組合員・利用者への最良・最適な商品、共済仕組み・サービスの提供

(1) 信用の事業活動

【原則2本文および(注)、原則3(注) 原則6本文および(注2、3)】

組合員・利用者の皆さまに提供する金融商品は、特定の投資運用会社に偏ることなく、多様なニーズにお応えするため、JAの中央機関である農林中央金庫において以下の基準をもとに厳選しております。

- ① 長期投資 将来の備えに向けて、「長期投資」を前提としている投資信託であること。
- ② 手数料 手数料が良心的な水準であること。
- ③ 運用実績 過去の運用実績が相対的に良好であること。
- ④ 将来性 これから将来に向けて資産を築いていく資産形成層に向けては、過度に分配金を捻出する投資信託ではないこと。
- ⑤ 運用体制 運用体制について、外部機関の評価を得ていること。

なお当組合は、金融商品の組成に携わっておりません。

<投資信託の取扱い商品ラインナップ(2024年3月末時点)>

カテゴリ	国内	海外
債券型	1 (前年度末：1)	7 (前年度末：8)
株式型	4 (前年度末：6)	6 (前年度末：7)
REIT型	2 (前年度末：2)	3 (前年度末：3)
バランス型	8 (前年度末：11)	

<商品選定の考え方>

参考：JAバンクHP
<https://www.jabank.org/sp/tameru/tousi/sintaku/select/>

※ 現在、新規でお申込みいただけないファンドも含まれておりますが、公社債投信は含んでおりません。

I .取組状況

1 組合員・利用者への最良・最適な商品、共済仕組み・サービスの提供

(2) 共済仕組み・サービス

【原則2本文および(注)、原則6本文および(注)】

- 当組合は、「地域」と「信頼」に基づくJA綱領の具体的実践を通じて、組合員・利用者の皆さまが、暮らしや農業を取り巻く様々なリスクに対して安心して備えることのできる、最適な共済仕組み・サービスを提供しております。
- 連帯債務の住宅ローン利用者には、団体信用生命共済において従来よりも手厚い保障が可能となる連生タイプの取扱を新たに開始しております。
- 当組合は、市場リスクを有する共済仕組みの提供は実施しておりません。

I.取組状況

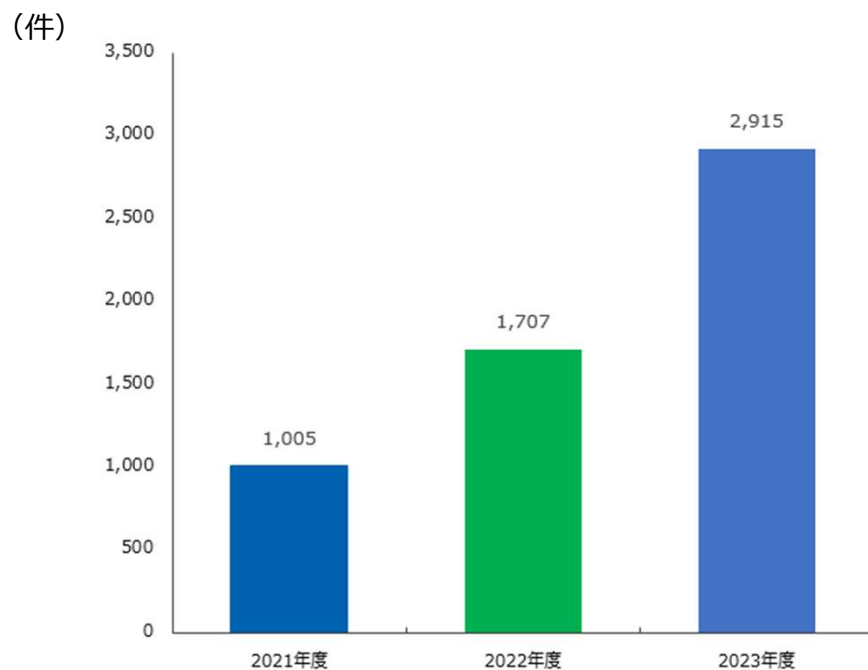
2 組合員・利用者本位の提案と情報提供①

【原則 2 本文および(注)、原則 5 本文および(注 1～5)、
原則 6 本文および(注 1、2、4、5)】

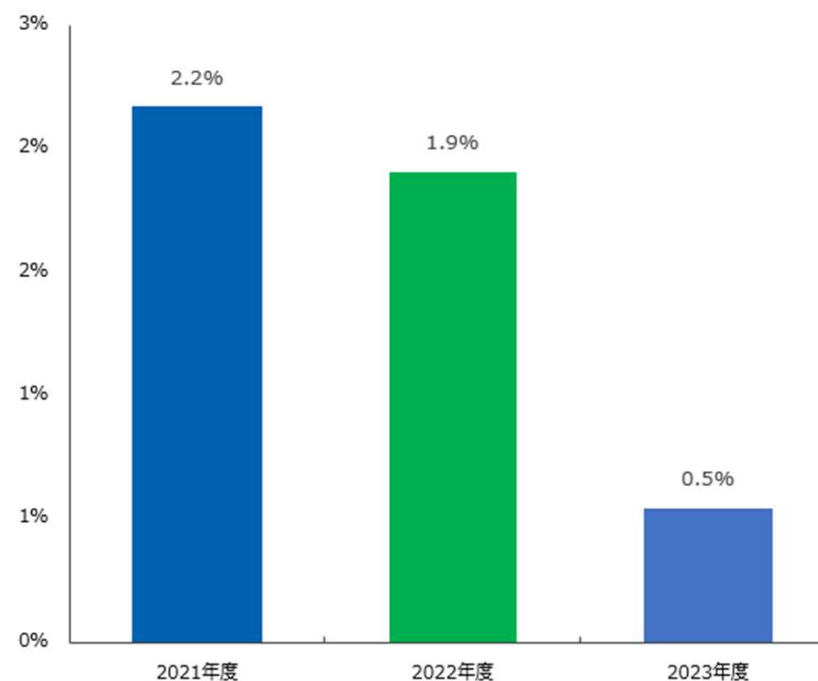
(1) 信用の事業活動

- 組合員・利用者の皆さまに安定的な運用成果をご享受いただくために、組合員・利用者の金融知識・経験・財産、ニーズや目的に合わせて適切な情報提供を行うとともに、分散投資・長期投資の有用性をご提案した結果、「投信つみたて」を利用される組合員等が増加し、「毎月分配型ファンド」を選択される組合員等の比率が低下いたしました。

<投信つみたて契約件数の推移>



<購入額に占める毎月分配型ファンドの比率>



I.取組状況

2 組合員・利用者本位の提案と情報提供②

【原則4、原則5本文および（注1～5）、原則6本文および（注1、2、4、5）】

(1) 信用の事業活動

- 組合員・利用者の皆さまの金融知識・経験・財産、ニーズや目的に合わせた、ふさわしい商品をご提案します。

JAバンク セレクトファンドマップ 2024年1月

リスク・リターン: 小 ← → 大

コア・サテライト戦略について

保有する資産を中心的「コア(中核)資産」と
互いの「サテライト(衛星)資産」に分けて運用する方法

イメージ: コア (定型的な運用を目指す「バランス型ファンド」)
サテライト (個別ニーズに応える「個別ファンド等」)

JAバンクのセレクトファンド

JAバンクのセレクトファンドは、国内約6,000本の中から、**JAバンクが独自の基準で**長期投資に適した投資信託を厳選しました。

主な選定基準等

- 1 長期投資 長期投資を前提とした投資信託であること
- 2 手数料 手数料が長期的な水準であること
- 3 運用実績 過去の運用実績が相対的に良好であること
- 4 採索性 資産形成には、適度に分配金を出す投資信託ではないこと
- 5 運用体制 運用体制について、外部機関の評価を得ていること

お客さまの長期投資にとって
数々の要素を評価し、投資信託を
厳選しているんです!

「投資信託銘柄選定(交付目録掲載)」のご提案、お申し込みは
めぐみの農業協同組合
登録金融機関
東海財務局長(登金)第194号

I.取組状況

2 組合員・利用者本位の提案と情報提供③

【原則2本文および（注）、原則5本文および（注1～5）、原則6本文および（注1・2・4・5）】

（2）共済の事業活動

- 組合員・利用者の皆さまのライフプラン・家族構成等に照らして、公的保険制度を踏まえた最適な保障内容・保障額の「ひと・いえ・くるま・農業の総合保障」をご提案しております。
- 組合員・利用者の皆さまに最適な共済仕組み・サービスを選定いただけるよう、わかりやすい資料や丁寧なご説明に努めております。
また、ご契約をいただく際にはご契約に関する重要事項の説明と、意向確認を分かりやすく丁寧に行っております。
特に、ご高齢の組合員・利用者の皆さまに対しては、より丁寧で分かりやすい説明と確認をするとともに、提案説明時および契約締結時には、ご親族等も含め十分ご納得・ご満足いただけるよう、ご親族等の同席を最優先にした推進手続きを遵守しております。
なお、保障のご加入にあたり共済掛金の他に組合員・利用者の皆さまにご負担いただく手数料等はございません。
- 組合員・利用者の皆さまに寄り添ったサービスを展開するとともに、着実なアフターフォローを通じ、各種変更手続きや共済金・給付金のお支払等について正確かつ迅速に対応しております。

I.取組状況

3 利益相反の適切な管理

【原則3本文および（注）】

- 組合員・利用者の皆さまの商品選定、保障提案にかかる情報提供にあたり、金融商品の販売・推奨や共済仕組みの提案・契約等において、組合員・利用者の皆さまの利益を不当に害することがないように、「利益相反管理方針」等を定め、本方針等に基づき適切に管理します。

【原則2本文および（注）、原則6（注5）原則7本文および（注）】

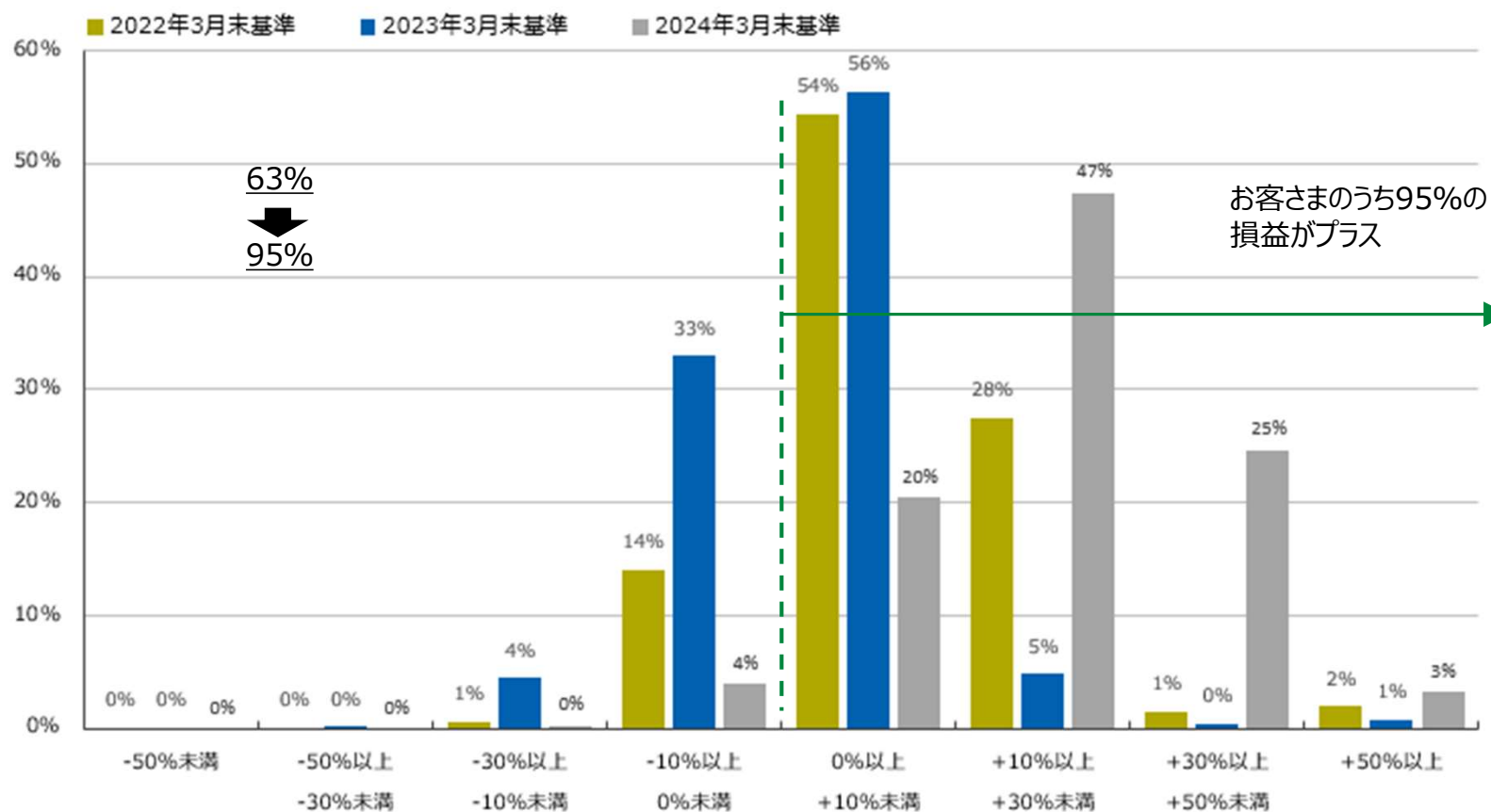
4 組合員・利用者本位の業務運営を実現するための人材の育成と態勢の構築

- 高度な専門知識の習得や誠実・公正な業務の徹底を図るために、内部研修および外部講師による研修会の開催や、eラーニングによる学習機会を設けるなど、最良・最適な金融商品、共済仕組み・サービスを提供できるよう継続的に職員育成を行う態勢を構築します。
- 組合員・利用者の皆さまからいただいた「声（お問い合わせ・ご相談、ご要望、苦情など）」を誠実に受け止め、業務改善等に努めます。

Ⅱ.比較可能な共通KPI

1 運用損益別顧客比率（投資信託）

- 「運用損益別顧客比率」は、組合員・利用者の皆様へ長期・分散投資やつみたて投資をご提案してきたことにより、2024年3月末時点では全体の95%のお客さまの損益がプラスとなりました。

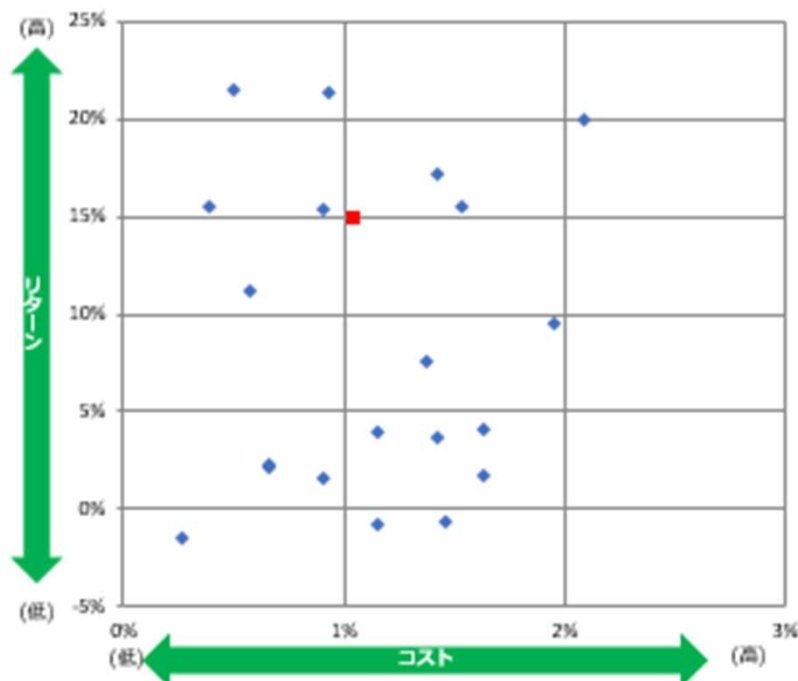


Ⅱ.比較可能な共通K P I

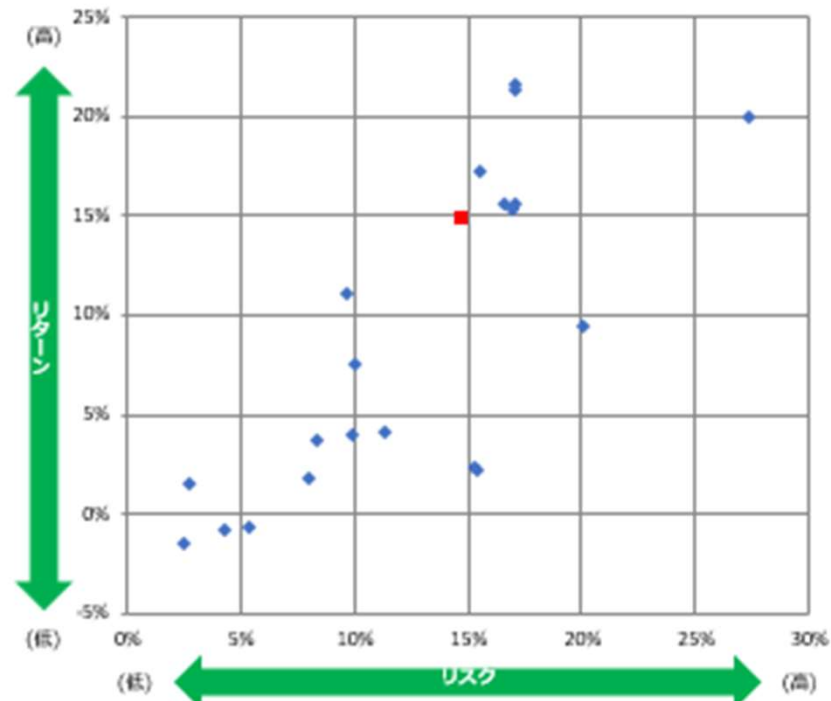
2 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン (1/3) (2024年3月末)

- J Aバンクでは、取扱うファンドの運用実績を組合員・利用者本位の業務運営の観点に基づきチェックし、運用実績が優良なファンドを選定しております。
- 2024年3月末時点の預り残高上位20銘柄の平均コスト1.06%、平均リスク14.78%に対して、平均リターンは14.81%でした。

<預り残高上位20銘柄のコスト・リターン>



<預り残高上位20銘柄のリスク・リターン>

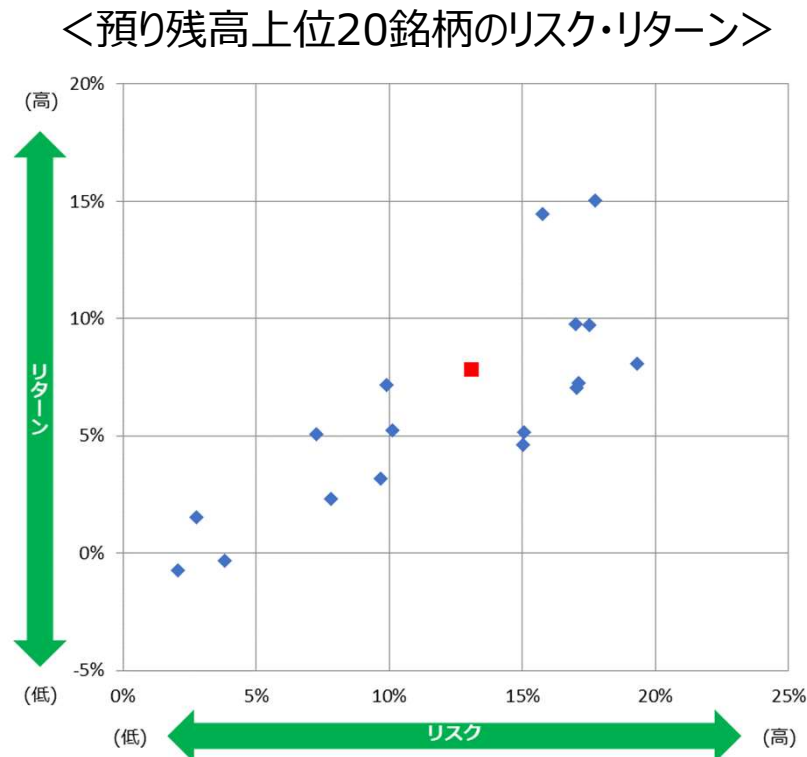
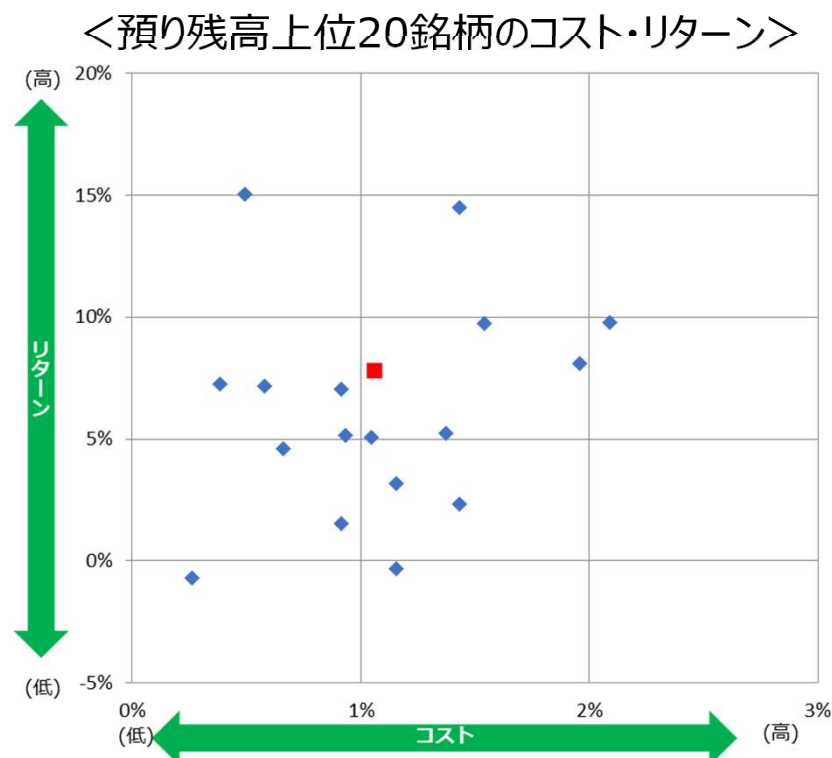


※ 各ファンドのコスト・リスク・リターンは、次のページに記載しております。
※ 赤い点は平均値を示しています。

Ⅱ.比較可能な共通K P I

2 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン (2/3) (2023年3月末)

- 2023年3月末時点の預り残高上位20銘柄の平均コスト1.06%、平均リスク13.09%に対して、平均リターンは7.82%でした。

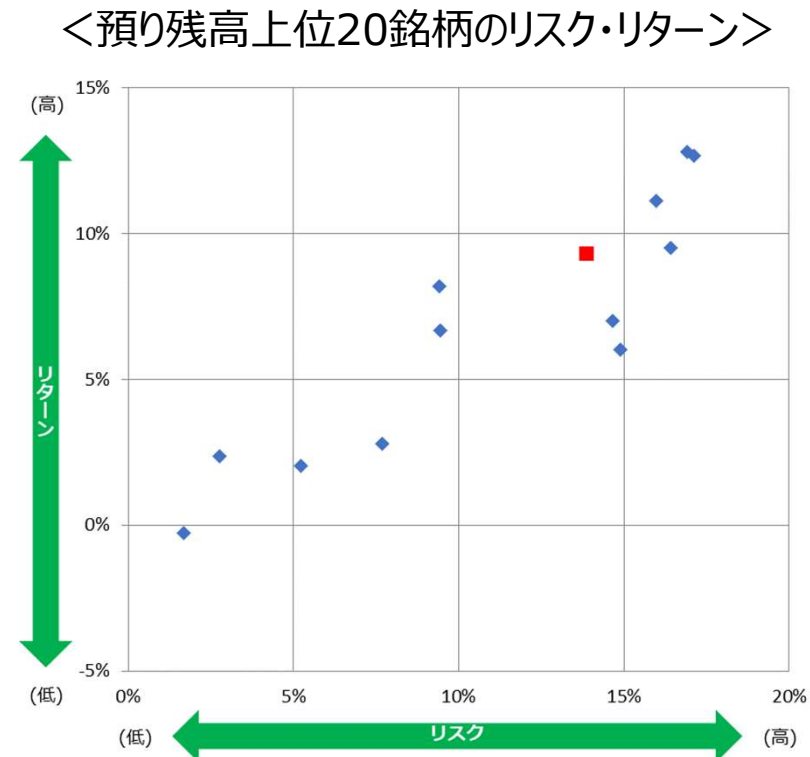
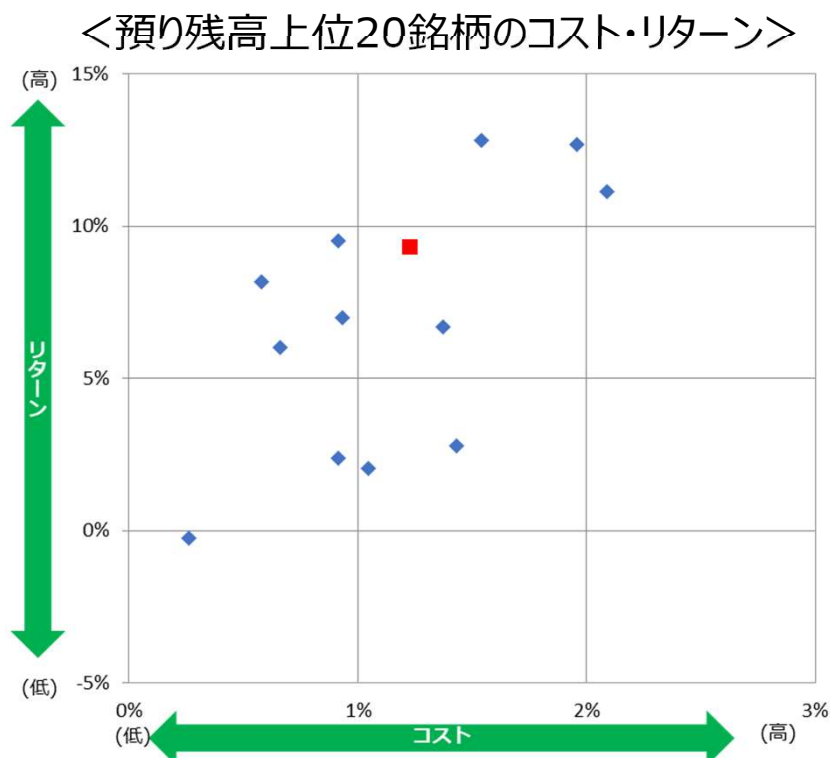


- ※ 各ファンドのコスト・リスク・リターンは、次のページに記載しております。
- ※ 赤い点は平均値を示しています。

Ⅱ.比較可能な共通K P I

2 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン (3/3) (2022年3月末)

- 2022年3月末時点の預り残高上位20銘柄の平均コスト1.23%、平均リスク13.87%に対して、平均リターンは9.39%となりました。



- ※ 各ファンドのコスト・リスク・リターンは、次のページに記載しております。
- ※ 赤い点は平均値を示しています。

Ⅱ.比較可能な共通KPI

3 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン (1/3) (2024年3月末)

	ファンド名	運用会社	リターン (年率)	リスク (年率)	コスト 全体
1	米国株式 S&P500インデックスファンド	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	21.40%	17.11%	0.94%
2	つみたてNISA米国株式 S&P500	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	21.55%	17.11%	0.50%
3	日米6資産分散ファンド(資産形成コース)	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	3.95%	9.89%	1.16%
4	長期厳選投資 おおぶね	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	17.22%	15.52%	1.43%
5	セゾン資産形成の達人ファンド	セゾン投信(株)	15.53%	16.54%	1.54%
6	HSBC世界資産選抜 収穫J-1(予想分配金提示型)	HSBCアセットマネジメント(株)	1.75%	7.95%	1.63%
7	HSBC世界資産選抜 育てるJ-1(資産形成型)	HSBCアセットマネジメント(株)	4.09%	11.30%	1.63%
8	農中日経225オープン	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	15.34%	17.00%	0.91%
9	日米6資産分散ファンド(安定運用コース)	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	-0.86%	4.33%	1.16%
10	セゾン・グローバルバランスファンド	セゾン投信(株)	11.15%	9.72%	0.58%
11	ペイリー・ギフォード世界長期成長株ファンド	三菱UFJアセットマネジメント(株)	19.98%	27.37%	2.08%
12	つみたてNISA日本株式 日経225	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	15.57%	17.06%	0.39%
13	ダイワ・グローバルREIT・オープン	大和アセットマネジメント(株)	9.47%	20.01%	1.96%
14	J-REITインデックス(毎月分配型)	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	2.28%	15.30%	0.66%
15	J-REITインデックス(年1回決算型)	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	2.14%	15.44%	0.66%
16	Oneニッポン債券オープン	アセットマネジメントOne(株)	1.52%	2.73%	0.91%
17	JA日本債券ファンド	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	-1.47%	2.46%	0.26%
18	世界の財産3分法ファンド(毎月分配型)	日興アセットマネジメント(株)	7.59%	10.06%	1.38%
19	DIAMハッピークローバー毎月決算コース	アセットマネジメントOne(株)	3.64%	8.31%	1.43%
20	グローバル・インカムフルコース(為替リスク軽減型)	三菱UFJアセットマネジメント(株)	-0.67%	5.31%	1.46%
	残高上位20ファンドの残高合計/残高加重平均値		14.81%	14.78%	1.06%

※ 2024年3月末基準時点における共通KPIの対象となるファンド数は20本となります。

※ 当指標は、設立から5年が経過したファンドを対象として、リターン・リスク・コストを算出して表示しております。

Ⅱ.比較可能な共通K P I

3 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン (2/3) (2023年3月末)

	ファンド名	運用会社	リターン (年率)	リスク (年率)	コスト 全体
1	日米6資産分散ファンド [®] (資産形成コース)	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	3.16%	9.68%	1.16%
2	つみたてNISA米国株式 S&P500	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	15.05%	17.74%	0.50%
3	長期厳選投資 おおぶね	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	14.48%	15.74%	1.43%
4	セゾン資産形成の達人ファンド	セゾン投信(株)	9.73%	17.50%	1.54%
5	日米6資産分散ファンド [®] (安定運用コース)	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	-0.34%	3.81%	1.16%
6	農中日経225オープン	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	7.05%	17.04%	0.91%
7	セゾン・グローバルバランスファンド	セゾン投信(株)	7.18%	9.92%	0.58%
8	ダイワ・グローバルREIT・オープン	大和アセットマネジメント(株)	8.09%	19.30%	1.96%
9	J-REITインデックス(毎月分配型)	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	4.62%	15.04%	0.66%
10	つみたてNISA日本株式 日経225	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	7.26%	17.10%	0.39%
11	Oneニッポン債券オープン	アセットマネジメントOne(株)	1.52%	2.76%	0.91%
12	世界の財産3分法ファンド(毎月分配型)	日興アセットマネジメント(株)	5.23%	10.14%	1.38%
13	JA TOPIXオープン	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	5.17%	15.06%	0.94%
14	JA日本債券ファンド	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	-0.72%	2.06%	0.26%
15	DIAMハッピークローバー毎月決算コース	アセットマネジメントOne(株)	2.31%	7.81%	1.43%
16	JA海外株式ファンド	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	9.76%	16.99%	2.09%
17	農中US債券オープン	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	5.07%	7.26%	1.05%
	残高上位20ファンドの残高合計/残高加重平均値		7.82%	13.09%	1.06%

※ 2023年3月末基準時点における共通K P Iの対象となるファンド数は17本となります。

※ 当指標は、設立から5年が経過したファンドを対象として、リターン・リスク・コストを算出して表示しております。

Ⅱ.比較可能な共通K P I

3 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン (3/3) (2022年3月末)

	ファンド名	運用会社	リターン (年率)	リスク (年率)	コスト 全体
1	セゾン資産形成の達人ファンド	セゾン投信(株)	12.81%	16.91%	1.54%
2	農中日経225オープン	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	9.53%	16.42%	0.91%
3	ダイワ・グローバルREIT・オープン	大和アセットマネジメント(株)	12.69%	17.12%	1.96%
4	セゾン・グローバルバランスファンド	セゾン投信(株)	8.19%	9.42%	0.58%
5	DIAMハッピークローバー毎月決算コース	アセットマネジメントOne(株)	2.80%	7.69%	1.43%
6	J-REITインデックス(毎月分配型)	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	6.02%	14.90%	0.66%
7	世界の財産3分法ファンド(毎月分配型)	日興アセットマネジメント(株)	6.67%	9.44%	1.38%
8	Oneニッポン債券オープン	アセットマネジメントOne(株)	2.36%	2.76%	0.91%
9	JA日本債券ファンド	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	-0.26%	1.70%	0.26%
10	JA TOPIXオープン	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	7.00%	14.67%	0.94%
11	JA海外株式ファンド	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	11.13%	15.98%	2.09%
12	農中US債券オープン	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	2.02%	5.21%	1.05%
	残高上位20ファンドの残高合計/残高加重平均値		9.30%	13.87%	1.23%

※ 2022年3月末基準時点における共通K P Iの対象となるファンド数は12本となります。

※ 当指標は、設立から5年が経過したファンドを対象として、リターン・リスク・コストを算出して表示しております。